

1 January, 2021
No.154

議会だより

たかねざわ

シトラスリボンがつなぐ結の心



Contents

表紙写真: 上高根沢小学校でシトラスリボン作り

- 第404回定例会 (12月) 2
- 全員協議会 10
- 一般質問 (町政・福祉・農地・安全など) 13
- 特集ページ (コロナ禍における子どもたちの声) .. 22
- 突撃インタビュー
～スポーツっていいね～ 小林榮二さん 24



12月定例会

原案全てを可決

令和3年4月の町長選挙から適用

町議会議員および町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定

公職選挙法の改正により、町議会議員と町長の選挙で、「選挙運動用自動車の使用」、「選挙運動用ピラの作成」、「選挙運動用ポスターの作成」を、公費負担の対象とするための条例です。

第404回議会定例会のあらまし

今定例会は、令和2年11月30日から12月7日までの8日間で開催しました。議案は、選挙運動の公費負担に関する条例の制定が1件、国保・後期高齢者医療・介護保険・町税外収入金・指定居宅介護支援・土づくりセンター・下水道事業に関する条例の一部改正で7件、一般会計・特別会計（国保・後期高齢者・介護）・事業会計（水道・下水道）の補正で6件、財産の取得が1件、工事請負契約の変更が1件、追加議案として議員報酬・町長等および職員の給与に関する条例の一部改正で3件、工事請負契約の変更が1件で、計20議案がありました。その他、諮問（人権擁護委員）が1件と、議員提出発議で予算特別委員会の設置がありました。即決および常任委員会での審議をした結果、全議案が可決されました。一般質問は、4人の議員が行い、町政運営・未来構想・農政・介護事業などを質問しました。なお、傍聴者総数は延べ10人でした。

費用負担限度額一覧表

		限度額
選挙運動用自動車の使用の費用	一般運送契約（ハイヤー方式）	1日の上限額 64,500円 × 5日 = 322,500円
	上記以外（個別契約方式）	自動車の借入 1日の上限額 15,800円 × 5日 = 79,000円
		燃料代 1日の上限額 7,560円 × 5日 = 37,800円
		運転手の報酬額 1日の上限額 12,500円 × 5日 = 62,500円
選挙運動用ピラの作成費用	町長選挙 枚数上限5,000枚 単価 7円51銭 × 5,000枚 = 37,550円	
	議会議員選挙 枚数上限1,600枚 単価 7円51銭 × 1,600枚 = 12,016円	
選挙運動用ポスター作成費用	作成単価の上限額 ポスター 525円6銭 × 96か所 + 310,500円 = 3,760円単価 ポスターの単価 3,760円 × 96か所	
	費用負担の限度額 単価 3,760円 × 96か所 = 360,960円	
	※候補者一人当たりの限度額を試算 (選挙運動用自動車の使用はハイヤー方式で試算)	
	町長選挙 721,010円	
	議会議員選挙 695,476円	

② 指定管理者による管理
地方自治法の規定に基づき、施設の管理運営を指定管理者に行わせることが出来ることを定めます。（詳しくは9ページ）

① 一般家庭からの生ごみ収集廃止
一般家庭から排出される生ごみは、燃えるごみとして収集していることから、所要の改正を行います。

改正内容

土づくりセンターを指定管理者に
土づくりセンターの設置・管理に関する条例の一部改正

次年度予算審議に向け特別委員会設置

設置目的
令和3年度の
一般会計
・特別会計
・事業会計
の予算審議を、全議員16名を委員とし、多角的な視野と幅広い見識により、しっかりと審議できるようにするものです。

設置期間
令和2年11月30日から令和3年3月定例会の会期まで

工事請負契約の変更①

アスベストの処理工事が増える

旧東小学校 校舎等解体工事

変更理由

設計時（目視調査）に、認識不能であったアスベスト含有、またはその恐れのある建材等の存在が、工事を行っていく過程で判明し、アスベスト処理工事が増えることになりました。

また、今後の敷地の維持管理を考慮して、樹木伐採工事も増えることになりました。

契約金額の変更

変更前

2億5907万円

変更後

2億8136万円

※2229万円の増額

内訳

- ・アスベスト処理工事 1959万円
- ・樹木伐採工事 270万円

工事期間

当初契約時の工事期間と変更はなく、令和3年3月9日まで。



東小学校解体状況

工事請負契約の変更②

防災無線の戸別受信機700台無償貸与へ

防災無線 デジタル化工事

変更理由

防災無線の難聴区域世帯等に無償貸与する、防災無線戸別受信機の購入（400台）と、設置に伴う工事が増えることになりました。

また、総務省消防庁の戸別受信機配備促進事業で、300台が国から無償貸与される予定となっており、町の購入分と合わせて合計700台分を無償貸与する予定です。さらに、道の駅たかねざわ元気あつぷむらとの協議で、施設を指定避難所に指定したことに伴い、避難所機能設営工事が増えることになりました。

契約金額の変更

変更前

4億7569万円

変更後

4億8105万円

※536万円の増額

内訳

- ・戸別受信機購入
- ・避難所機能設営の増工

工事期間延長

道の駅たかねざわ元気あつぷむら避難所機能設営に伴い、令和3年2月26日から令和3年3月22日まで延長されます。



戸別受信機



聴覚障がい者用表示機

無償貸与予定 一覧（町 400台、国 300台、合計 700台）

	対象	配備台数
1	難聴区域世帯（鷺ノ谷・大用地地区予定）	25台
2	要配慮者（避難行動要支援者）	467台
3	土砂災害警戒区域世帯	60台
4	自治会長	50台
5	消防団幹部	19台
6	避難所	16台
7	その他	63台

諮問 人権擁護委員の推薦

令和3年3月31日に、任期を迎える方の再任に対し、適任としました。

氏名 安達奈美氏



任期 令和3年4月1日
～ 令和6年3月31日

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり、人権の考えを広めたりする活動をしている、民間の方々です。

お詫びと訂正

議会だよりNo.153の10ページで、デマンドバスの運行台数記載に誤りがありました。

正しくは、
・従来は4台
・今年度より5台
となります。

ここに深くお詫びし、訂正させていただきます。



全議案の議決採決

町民の負託に応えた各議員の賛否!! 第404回定例会

12月定例会

採決結果

委員会報告

全員協議会

〇H豆知識

一般質問

会派要望

常任委員会

特別企画

上程された議案&概要 賛成：○ 反対：×	採決結果													議決結果	掲載ページ			
	澤畑宏之	高根博	佐藤晴彦	鈴木伊佐雄	中山喜美一	加藤章	齋藤武男	齋藤誠治	梅村達美	横須賀忠利	神林秀治	森弘子	野中昭一			鈴木利二	阿久津信男	
条例の制定																		
議案第1号 町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P 2
条例の一部改正																		
議案第7号 土づくりセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P 2
令和2年度 補正予算																		
議案第9号 令和2年度一般会計補正予算議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P 3, P5~P9
工事請負契約の変更																		
議案第16号 工事請負契約の変更 (旧東小学校校舎等解体工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P 3
人事案件																		
諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	遵	P 3
議員発議																		
発議第1号 高根沢町議会予算特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P 2
追加議案 (工事請負契約の変更)																		
追加議案第4号 工事請負契約の変更 (防災無線デジタル化工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P 3
意見書																		
意見案第1号 防災・減災、国土強靱化対策の推進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P 9

※この他、条例の改正6議案、補正予算5議案、財産の取得、追加議案(条例の一部改正)3議案がありました。

詳しくは、高根沢町ホームページ内の「高根沢町議会」を開き「本会議(定例会・臨時会)」をご覧ください。

表紙写真紹介



上高根沢小学校の5・6年生が、12月に「シトラスリボン」について学習しました。

県内でシトラスリボンの運動をしている片岡千晴さんほか2名から、新型コロナウイルスの感染者や医療従事者が、地域の中で笑顔で暮らせる思いやりのある社会を目指す「シトラスリボン」プロジェクトについて話を聞き、リボンの作り方も教えてもらいました。作ったリボンをクリスマスツリーに付け、学校のほか、ちよっ蔵情報発信館や図書館、役場などに飾られました。

傍聴者の声



高根沢町(宝積寺支店)に赴任し、令和2年の10月で2年の歳月が経過しました。一般質問の傍聴について、最初の受付から傍聴席に座るまで何故か緊張しており、質問答弁の意味も、流れも分からずに困惑していたことを懐かしく思い出します。

私が加入している「高根沢ロータリークラブ」の活動の一環として、以前に議会傍聴を実施したことがあります。当町在住の会員から「大変貴重な機会であった」「町政の事が理解できた」との後日談もありました。新型コロナウイルスの終息が見えない今、誰しもが不安な毎日を通り過ぎております。議員の皆様も、大変な時期ではございますが、町政発展のため、更なるご活躍を祈念しております。

主な質疑

主な補正予算

歳入

- ・財政調整基金繰入金 6162万円
- ・森林環境譲与税基金繰入金 △50万円

歳出

△50万円

- ・防災無線整備事業債 530万円
- ・新型コロナウイルス避
難所感染症対策事業費 1387万円
- ・防災無線デジタル化事
業費 535万円

- ・プラスチック回収再
資源化事業費 54万円

- ・町長選挙費 308万円

コロナの影響か

Q 森林環境譲与税
事業の内容と減額
する理由は？

A 企画課長

エコ・ハウスたかねざ
わの事業で、木材を使っ
た「マイ箸づくり・木製
プレート・パーパーホル
ダーづくり」など、年間
15日ほど行う事業であっ
たが、新型コロナウイルス
の影響で実施を見送っ
たためである。

感染症対策として！

Q 避難所感染症対策
事業で、防災倉庫
の設置と備品購入(感染対
策用テント、空気清浄機な
ど)があるが、具体的な使
い方は？

A 地域安全課長

一人用テントを12基購
入し、町民広場の体育館
に間隔をあけて設置し、
各テント内に感染症対策
用空気清浄機を置き、テ
ント内除菌をする。
防災倉庫は、町民広場
テニスコート北側に設置
し、消毒用アルコールな
どの感染症対策用備品を
配備するため、温度管理
が可能な空調設備付きの
倉庫となる。

避難所を確認しよ
う！

町内の指定避難所

- 1 阿久津中学校
- 2 阿久津小学校
- 3 図書館中央館
- 4 西小学校
- 5 大谷集落センター
- 6 中央小学校
- 7 町民広場
- 8 高根沢高校
- 9 北小学校
- 10 仁井田ふれあい広場
- 11 台新田公民館
- 12 東小学校
- 13 北高根沢中学校
- 14 桑窪公民館
- 15 上高根沢小学校
- 16 柏崎公民館

元気あつぷむら

難聴区域の対策に！

Q 防災無線デジタ
ル化事業費の追
加工事の内容は？

A 地域安全課長

道の駅たかねざわ元気
あつぷむらとの協議で、
施設を指定避難所に指定
したので、そのための必
要な設備工事を行う。
これにより、避難所間
を結ぶ防災ネットワーク
体制が整えられる。
また、防災無線デジタ
ル化で、難聴区域などへ
の戸別受信機の導入が含
まれている。

(3ページ関連記事)

循環型社会の二つと
一つ！

Q 容器包装プラス
チック回収資源化
事業委託の増額理由は？

A 環境課長

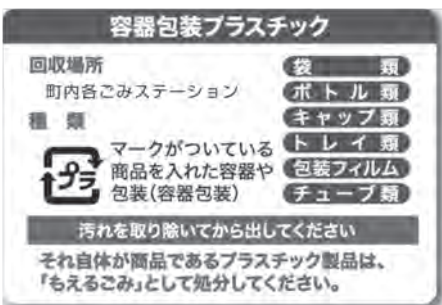
容器包装プラスチック
回収を令和2年4月から
町内ごみステーションで
始め、回収量を35tと見
込んだが、9月末時点で
実績が19tであり、1年
間の回収量を45tと見込
み、選別・圧縮・梱包・
保管の委託料を増額補正
した。



子ども達が真剣に取り組むマイ箸づくり



指定緊急避難場所につ
いても確認を！



教育福祉常任委員会 審議報告

主な補正予算

歳入

- ・障がい福祉サービス費等負担金(国・県) 2951万円
- ・地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金 1232万円
- ・疾病予防対策事業費等補助金 1125万円

歳出

- ・障がい福祉サービス費支給事業費 3934万円
- ・地域介護・福祉空間整備等補助事業費 1232万円
- ・高齢者等新型コロナウイルス感染症対策検査助成事業費 243万円
- ・トレーニングセンター維持管理費 100万円

この他、図書館施設修繕・改修事業費で継続費の補正や、デジタル教科書購入等の債務負担行為の補正がありました。
また、国保・後期高齢者・介護保険特別会計の補正もありました。

※継続費とは

数年度に渡り支出する、国または地方公共団体の経費。

完成に数年を要する工事などの事業で、初年度に経費の総額と年割額を定め、一括して議会の議決を経るものです。



年度をまたぐ 図書館施設修繕工事

※債務負担行為とは
地方自治法214条の規定にある、複数年度にまたがる事業を実施する際に、契約締結で将来発生する負担の期間と限度額を決めることです。



小中学校教師用教科書等購入

一般会計 補正予算審議

主な質疑

債務負担行為補正

ICT教育の準備が進行中

中学校指導者用デジタル教科書購入

期間

令和3年度

限度額

307万円

Q デジタル教科書購入に対する契約内容の詳細は?

A 学校教育課長

教科書出版社が製作したデジタル教科書で、次期教科書改訂まで利用できるweb版の購入を予定している。

Q デジタル教科書は、児童・生徒用も購入するのか?
また、紙の教科書は将来的にはなくなるのか?

A 学校教育課長

デジタル教科書は、指導者(教師)用であり、電子黒板に投影したものをしながら授業をする。児童・生徒用はない。

また、授業目的に応じて電子黒板と通常の黒板を併用しながら授業を行う。紙の教科書は、現在国より無償給与となっている。ただし、将来的には、デジタル教科書の無償給与となれば、紙の教科書が無くなる可能性があると思われる。

番外編 「健康意識の向上を」

自然療法で健康に

「こんにやく」で疲れや毒素を取りませんか?

こんにやく温湿布

「こんにやく湿布」は、自然療法の代表的な手当てのひとつで、「茹でたこんにやく」をタオルで巻き、身体の上に乗せる療法です。

効果と効能は?

- ①こんにやく湿布は「湿性」の熱といえ、身体の中まで温めてくれ外した後も、温感が長く持続します。
内臓が温まり、血流が良くなります。
- ②こんにやくを、お湯で約10分ゆでる。
- ③茹でたこんにやくをタオル2〜3枚でくるむ。
- ④肝臓・丹田(おへその下あたり)の上に30分ほど乗せる。
- ⑤その後、うつぶせになって、こんにやく湿布を腎臓の上に30分ほど乗せる。

②こんにやくの酵素が身体の疲労物質や毒素、不要物を吸い出してくれ、こんにやく湿布の湯気が当たると、熱気で毛穴も開き、汗と一緒に、疲労物質や毒素などが引く張り出され、デトックス効果が期待できます。

③「お肌の健康」内臓の健康」といい、内臓が健康になれば血流も良くなり、肌もきれいになります。

また、インターネットで「こんにやく湿布」と検索して、詳細を確認してからお試しください。

コロナ禍の中でも頑張る職員

健康福祉課職員給与費

177万円



コロナ禍でも職務を全うする

Q 新型コロナウイルスの影響により、時間外での仕事が増加しているとの事だが、職員の精神的・身体的負担による健康上の問題は起きていないのか？

A 健康福祉課長

職員の負担が増えているが、現在のところ健康状態を悪くした職員はいない。

また、管理職において健康管理をしっかり行うとともに、無理な職務環境にならないよう体制を整える。

災害が起きてても安心できる介護施設へ

地域介護・福祉空間整備等補助事業費

1232万円

Q 補助事業を利用する福祉事業所は？
また、国の補助制度などは、町が福祉事業者へ、しっかり情報提供しているのか？

A 健康福祉課長

この補助事業は防災関連に対する補助で、高齢者施設で受け、災害時の電源確保につなげるために太陽光発電設備・蓄電設備が設置されます。町が事業所に、国の制度を紹介しており、各事業所が判断して制度の活用を検討している。

感染しているかどうかを抗原検査で確認

高齢者等新型コロナウイルス感染症対策検査助成事業費

243万円

Q 抗原検査を受けると費用負担額は？
また、周知はどのように行うのか？

A 健康福祉課長

検査を受ける流れとしては、町保健センターに検査機関に来てもらい、1月から3月までの間に4日間の指定日を設けて検査を行う。
検査希望者は、検査費用の一部の2000円を負担をし、残りは町と国で負担する。
日時については、町広報紙やホームページでお知らせし、検査希望者は、電話にて申し込みをしてもらう。

※PCR検査・抗原検査・抗体検査の違い

	PCR検査	抗原検査	抗体検査
検査方法	ウイルスの遺伝子を検出する検査	ウイルス自体を検出する検査	抗体をもっているか調べる検査
目的・特徴	現在感染しているのか調べる		過去に感染したかを調べる
採取方法	鼻咽頭ぬぐい液・唾液		採血
検査所要時間	4～5時間	30分程度	15分程度
精度	精度が高い	PCR検査に精度で劣る	今、感染しているかの判定には向かない



新型コロナウイルス感染症流行下における高齢者の検査実施について

国民健康保険特別会計補正予算審議

主な質疑

高額医療を受ける方は減少傾向に

一般被保険者高額療養費 2200万円

Q 増額の理由と、高額医療受給者数の増減傾向は？

A 住民課長

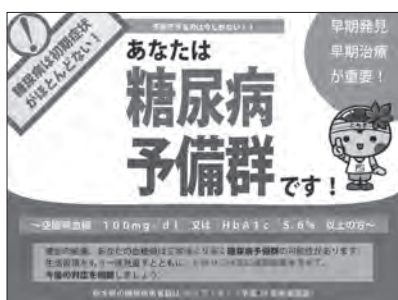
1件で、2000万円を超える医療を受けられた方がいた。
高額医療受給者数は、減少傾向である。

重症化には気を付けよう！健康が第一ですよ

Q 本町での、高額医療に関するPRはしているのか？

A 住民課長

基礎疾患等が重症化して、高額化しているケースが多い状況である。健康に対する意識を向上してもらえるよう、基礎疾患となる糖尿病等に対するPRをしている。



高額療養費の詳細

建設産業常任委員会 審議報告

主な補正予算

歳入
 ・社会資本整備総合交付金 8255万円

歳出
 ・県単農業農村整備事業費補助金 175万円

・土づくりセンター機器整備事業費 △717万円

・道の駅たかねざわ元気あつぷむら付加価値化事業費 △791万円

・砂利道補修費 400万円

その他
 農林水産業費の林業費の補正がありました。

主な質疑

Q 砂利道補修はやってますか？

A 砂利道路補修事業の地区件数は、また、そこに敷く補修の原材料は？

都市整備課長

令和元年度の実績は18件だったが、今年度はすでに20件、保留が6件、今後も出る可能性がある。原材料は、コンクリート再生材のRC40を敷いている。



砂利道（花岡地区）

Q プラスチックを処理してもらえるの？

A 農業用廃プラスチック処理は？

Q 農協主体で実施して回収している。今年度は8万9780kgを見込んでいます。

A 補正の大きな理由は処理単価が60円から110円に値上がりしたため。

Q 特殊なホイールローダーか？

A 土づくりセンターのホイールローダーの見積もり合わせは？

Q 施設の設計内容を考慮した仕様としたこと、また維持管理費を下げるために、防サビ仕様、強化部品の導入、粉じん防止などの対策を条件とした。

A 産業課長

Q 温泉は大丈夫？

A 元気あつぷむらポンプ修繕とは？

A 7月下旬に故障し、予備ポンプに切り替えた。



リニューアルされた元気あつぷむら露天風呂

Q 元気あつぷむらのプロモーションって何？

Q 元気あつぷ付加価値事業とは？

A 元気あつぷ創生課長

道の駅たかねざわ元気あつぷむらを中心としたプロモーションで有名人にインスタグラムで上げてもらうなどを考えていますが、今般のコロナ禍を踏まえ、事業を再考した結果、取りやめとした。

条例の一部改正

土づくりセンター
の設置及び管理に
関する条例

Q

牛ふんの搬入は？

A

産業課長

牛ふんの搬入については、利用組合と協議してあり、搬入してもらえないことになっている。

なお、現在は8軒の農家に確認してあります。

Q

堆肥の販売価格は？

A

現行と同様、1t当たり4000円の販売予定であるが、家庭用の袋詰め再開が難しい。

Q

生ごみの収集廃止とは？

A

生ごみには一般家庭と事業系があり、事業系生ごみの収集だけは再開する。

Q

もみがらの受け入れは？

A

産業課長

これまで通り無料で受け入れる予定。しかし、生産量が減少するので、受け入れ量は制限する。(原則的にはたい肥を購入してくれた量に対し、もみ殻を収集することとなる)

土づくりセンター利用料金表

区分		単位	金額
資材搬入に係る利用	事業活動により搬出される生ごみ	1 kg	15円
	動物ふん尿 (畜産農業に係るものに限る。)	10kg	5円
散布車利用 (オペレーター含む。)		1 t	1,000円

(委員会発議) 国土強靭化対策を延長すべきでは？

防災減災、国土強靭化対策

数十年、百年に一度といわれる大規模災害が今や毎年のように発生しているなか、住民の生命と財産を守るため防災、減災、国土強靭化対策の推進を求める意見書を国に提出しようとするものである。

Q

準用河川に国の補助は？

A

都市整備課長

普通河川、準用河川共に災害復旧に対して補助が出る。準用河川だと予防的なものに対しても補助が出る可能性がある。

Q

これまでの3年間に町で申請したものは？

A

都市整備課長

令和2年度にため池のハザードマップの作成を行うために申請したものである。



改修工事中の土づくりセンター



上柏崎地区の地滑り防止区間

令和『大嘗祭』で注目の「とちぎの星」 高根沢の魅力の救世主に

11月24日開催 全員協議会

事業内容は？

町外の20代の若者、30・40代のファミリー層をターゲットとし、交流人口から、より町との関わりの深い関係人口へと誘導して、町の賑わい創出につなげていくための事業です。

●事業名

「とちぎの星」を活用したプロモーション事業

●実施予定期間

令和2年11月16日～
令和5年3月31日

●総事業費

7795万円

(うち国庫補助1/2)

●受注者

(株)関東朝日広告社

●選定方法

公募型プロポーザル

高根沢産「とちぎの星」を活用した町のプロモーション



「とちぎの星」のプロモーション事業にさきがけ12月に放送されたとちぎテレビ「カミナリのチャリ旅！シーズン4」の撮影風景

具体的な事業として

①イメージアップ・プランニング

事業の専用ホームページを制作し、アクセス解析、ターゲットの傾向分析を行います。

②写真や動画による広告宣伝企画

栃木県出身のタレントを起用し、令和3年2月を予定に、テレビ東京のCMを活用して全国的にPRします。

③マーケティング調査

道の駅たかねざわ元気あっぷむらでのイベントや、インターネット調査を行います。

④農業体験

来訪者の特性を把握し、また来たる様な体験メニューを発掘します。

公共下水道事業の認可区域拡大

次期認可区域の概要

次期認可予定区域の、宝積寺西町区域では、「沿道整備街路事業」の区域が含まれ、これに合わせ、下水道事業を進める部分と、現道を利用して下水道管渠を整備する、二種類の整備方法で行う計画をしています。

○整備延長

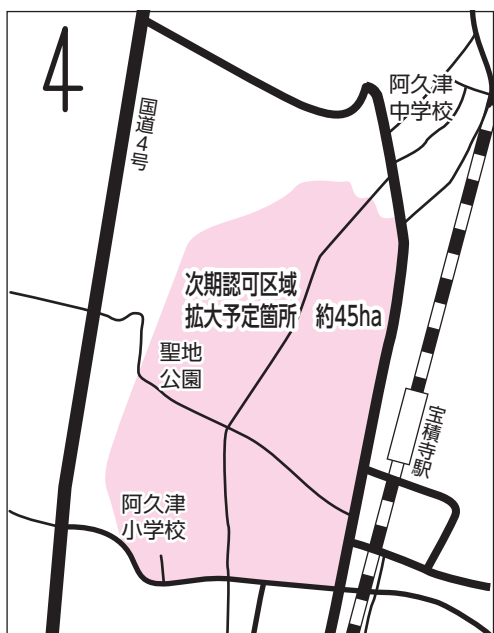
45ha

○事業費

5400m

令和2年度中に、変更認可申請を行います。

11億2500万円



検討開始までの経緯

学校教育法施行規則で、小・中学校の標準的な学級数は、12学級から18学級と規定され、本町では中央小・東小・上高根沢小・北小の4校と、北高根沢中1校が、標準的な学級を下回る「小規模校」に区分されます。

これまでの取り組みとして、上高根沢小は、統廃合ありきではなく、小規模特認校制度を取り入れ、児童数の確保を行いました。

しかし、令和2年度の上高根沢小の新1年生は6名、東小の新1年生も6名と、小規模化の課題が残る現状です。

今後の学校運営で、「小規模特認校制度を継続するか?」「学区の在り方」や「統廃合」など、様々な観点から、検討を開始します。

検討に必要な3つの観点

① 教育的な観点

学校規模適正化の目的を、「児童・生徒の教育条件の改善」におき、統廃合・小規模校の良さなど、学区の在り方を含め、地域の実情に応じた分析に基づき、判断すべきとしている。

② 公共施設管理の観点

学校教育施設は、町全体の公共施設の内、延べ床面積で54・4%であり、限られた財源を効果的に教育に活用していくには、総合管理計画の考え方を踏まえ、施設の更新・統廃合・長寿命化など、長期的な視点での、検討・計画をする必要がある。

③ 地域コミュニティの観点

学校は、教育施設であるだけでなく、「地域コミュニティの核」としての役割や、「地域の防災拠点」としての機能を併せ持っている。「保護者・地域住民が何を望んでいるのか」、「地域や教育の在り方」の展望など、将来ビジョンを共有しながら検討を進める必要がある。



文部科学省の学校規模適正化に関する資料

小中学校 児童生徒数推計 (人)

年度	阿小	中央小	東小	上高小	北小	西小	阿中	北高中
令和3年度	547	158	94	70	129	420	532	189
令和4年度	550	154	86	62	130	422	536	196
令和5年度	537	156	88	56	118	420	540	181
令和6年度	530	145	74	52	116	437	547	189
令和7年度	536	136	76	48	103	456	545	177
令和8年度	537	130	77	51	99	454	537	155

検討の進め方

①業務委託で、学校規模の適正化・適正配置の分析を行い、客観的な資料を作成する。

②各学校の学校運営協議会で、課題の抽出・協議・意見徴収を実施し、意見の取りまとめを行う。

③保護者・地域住民・有識者を交えた、「(仮)学校規模適正化検討委員会」を設置し、教育条件改善の総合的な検討を進める。



小規模特認校の上高根沢小

④検討委員会で、懇談会・アンケート・説明会などを実施し、情報提供や課題・将来ビジョンの共通理解を図り、十分な対話を行い、議論を深める。

⑤検討委員会からの答申を基に、「(仮)学校規模適正化基本計画」を策定し、パブリックコメントを実施し、今後の学校運営の在り方に関する基本計画を決定する。

⑥基本計画で決定した内容は、保護者・地域住民の理解と協力が得られるよう、住民説明会などを開催して周知を図る。

土づくりセンターの設計概要

新設棟

発酵棟は、混合槽のほか、発酵槽11槽で構成されます。

令和3年1月中旬に、建設工事に着手予定です。

● 構造

鉄骨造ガルバニウム鋼板葺き平屋建

● 面積

1256・68㎡

● 材料搬入量

10t/日
3000t/年

● 予定たい肥生産量

(300日稼働)
約705t/年

改修棟

たい肥の二次発酵を行うために、保管庫のコンクリートの床部にエアレーション設備を設置します。

● 改修内容

エアレーション設備
令和3年9月の再稼働を目指しています。

(2ページ9ページに関連記事)



選挙権を行使しましょう！

そもそも選挙が
なかったら？

もし選挙がなければ、
永遠に政治を変えること
ができません。

選挙の本質とは『社会
をより良いものにするこ
と』です。

しかし、選挙がなけれ
ば、権力者は社会のこと
ではなく自分のためだけ
に力を使うようになって
しまいます。

そんな独裁者を権力の
座から引きずり下ろした
くても、その仕組みがな
ければ何もできません。

歴史を見ると、選
挙という仕組みがなく社
会を変えるためには『反
乱』とか『一揆』などの
テロを起こすしかありま
せんでした。

武力などで戦争を起こ
さないためにも、『選挙』
というものは重要であり、
歴史を踏まえて作りあげ
た重要な仕組みです。

選挙で税金を使う
代表を決める！

選挙で選ばれた代表者
は、社会をよりよくする
ための仕事をします。

それには、お金が必要
で、そのお金は私達の『税
金』として払っています。

いわば、町民からのお
金を預かって町政運用を
している意識をもたなけ
ればなりません。

政治家が
緊張感を持って
仕事をするために

選挙で選ばれた人たち
は、次の選挙で落選すれば
無職になってしまいます。

政治家に一生懸命に仕
事をさせることが選挙制
度の本質です。

ちょっとブレイク

「いね」と呼ばれるようになった語源！

命をつないできた稲

私たち日本人は、お米
が大好き。

かけがえのない主食と
して、長くつきあってき
ました。

お米の歴史をひも解い
ていくと、弥生時代にま
でさかのぼります。

「稲」は、水と太陽の
力を借りて日本の大地に
根つき、水田という設備
をもうけ、稲作が始まり
ました。

稲は、日本人が落ち着
いてひとつの場所に住み、
食べものに困らない暮ら
しをもたらししました。

米づくりは共同作業が
基本であり、稲作を生業
とする人々が集って集落
が生まれ、村ができ、社
会が誕生します。

私たちの祖先は、それ
ぞれの社会で命を繋ぎま
した。

そして稲を育てる水田
は、米づくり以外にも

・天災を防ぐダムの代り
・水をきれいにする浄化
作用

・作物が育ちやすい土づ
くり

・渡り鳥の餌場(えさば)
・魚や虫の住み家

といった、さまざまな働
きがあります。

稲は自然や私たちを生
かしながら、日本文化が
作られる上で、とても大
きな役割を担ってきたの
です。

「いね」と呼ばれるよ
うになった語源には飯の
根、生きる根、息の根、
そして命の根という意味
が込められています。



令和2年度のたわわに実った稲穂

町政を問う！

4人の議員が登場

一般質問者

- ◆野中 昭一 議員…………… 14
①令和3年度に向けた町政運営は
- ◆佐藤 晴彦 議員…………… 15
①本町の未来構想は
②安全・安心の高まる町に向けて
- ◆加藤 章 議員…………… 16
①農業の持続・発展に向けた圃場整備事業について
②道の駅たかねざわ元気あっぷむらの現状とプロモーション事業の展開について
- ◆森 弘子 議員…………… 17
①介護予防・日常生活支援総合事業について
②通学路としての町道の整備と安全対策について

一般質問って？

一般質問は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。

議長が、質問と答弁がよくかみ合うように議事を進めるため、質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要です。そのため、議員としては、質問の構想を練り理論構成をしてその要旨を議長に通告する、通告制をとっています。

質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内ですが、今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、45分以内となりました。

一般質問の動画

YouTubeで配信しています。各議員一般質問のページにある二次元バーコード、または「高根沢町議会 第404回」で検索を。DVDは図書館3館で貸出しています。

会議録

会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約2ヶ月後に発行しています。

図書館3館で閲覧ができます。また、町ホームページの「会議録検索システム」からご覧になれます。



会議録検索システム

暮らしの政治を見よう 議会傍聴へお越しください

次回の議会（定例会）日程は、3月2日（火）～16日（火）の予定。日程詳細・議事録は、町ホームページをご覧ください。



傍聴の手続き

議会の情報をより早く皆様へ

次回の発行は4月20日になります。

「議会だより」表紙写真募集

写真は町内のイベントや人物、風景を撮ったものをデータで提出してください。皆様のご協力をお願いいたします。

広報誌がスマホで見れて便利

「マチイロ」 & 「栃木イーブックス」を検索



マチイロHP



トチギーブックスHP

問加藤町政 2期目の総括と3期目に向けて

答【町長】暫し時間をいただきたい



野中 昭一 議員



当初予算編成概要



Q 厳しい財政状況のなか、大変な予算編成作業となつていることが想像されるが、令和3年度当初予算編成における現時点での重点施策や新規事業、そしてコロナ対策事業など、予算の概要について伺う。

「約2億円の減収」



町長

A 令和3年度の歳入予算の中でも、特に町民税は、約2億円以上の大幅な減収を見込まなくてはならない状況である。

その減収分を含めた財源として、財政調整基金で補充しなければならず、基金残高は、3億2千万まで減収する見込みだ。

歳出予算は、経営方針で示したとおり前年度比10%削減を目標としているが、必要不可欠な住民サービスの提供や、新型

コロナウイルス感染症の大流行・災害などの不測の事態に対応するため、現時点では3.4%程度の削減に留まっている。



保健センターでの手厚い乳幼児健診

「重点施策」

○子育て施策

結婚活動推進事業の実施や不妊治療の助成、産科誘致補助事業、子育て世代包括支援センターの継続など。

○関係人口の創出

令和3年2月のテレビCM放送をきっかけに、若者やファミリー層に訴求する事業を展開し、「住んでみたい」「住み続けたい」方を増やし、魅力あるまちづくりを図る。



全町での回収が始まった容器包装プラスチック

○教育施策

ICTを最大限活用した授業に積極的に取り組み、「確かな学力」の育成に努める。

○環境施策

容器包装プラスチック回収を月2回とする。

○農業施策

土づくりセンターの再稼働による循環型農業の活性化と、農作業の自動化を見据えた「スマート農業」の在り方を研究する。

なお、新型コロナウイルス感染症防止対策を万全なものとしていく。

強い意志と覚悟をもって表明を！



どこよりも早く策定した定住人口増加プロジェクトの推進、地域経営計画に基づく堅実・安定した町政運営、キリンビール所有地への企業誘致の成功、被災した土づくりセンターの再建、迅速かつ的確なコロナ対策の実施、元気があつむらの道の駅へのリニューアルなど、加藤町長なくては成しえなかった。

さらに、コロナ禍における厳しい社会経済状況の中、町の将来を託せるのは加藤町長以外には考えられない。
3期目の町政運営に向けた考えを、町長の強い意志と覚悟をもって表明して頂きたい。



町長

A 次の4年も町政を担ってほしいとの声をいただき、町政の舵取りは誰が適任なのか考えている。就任以来、全力で走り続けてきたが、3期目の出馬表明については、もうしばらくの時間をいただきたい。



マニー進出が決まったキリンビール跡地



問 本町の未来構想は

答【町長】庁舎建て替えと一体的に

デジタル化を検討



佐藤 晴彦 議員

デジタル社会への対応

Q 地域経営計画の後期計画に、行政のデジタル化は盛り込まれているのか？

A 町長

後期計画には盛り込まないが、急速に発展していくデジタル社会において、「住民の利便性向上」、「新しい生活様式への転換」という観点から、あらゆる行政手続きやサービスがオンラインで完結する未来を見据え進めていく時期と考えている。

50年以上経つ現庁舎に、多額な費用を投じて整備することは、費用対効果の側面からも難しく、可能な範囲でデジタル化の対応をし、近い将来の庁舎建て替えと一体的に本格的なデジタル化を検討していく。

「スマート農業」の推進

Q 本町の基幹産業である農業に対し、IoTやAIなどを活用した施策展開が必要と考えるか？

A 町長



スマート農業として注目されている無人田植機 (提供：農研機構)

農業者の高齢化・後継者不足、作業の負荷軽減・効率化、農業技術の継承は喫緊の課題であり、IoT・AI・ロボットなどの最先端技術を活用した「スマート農業」の導入・普及は、農業の持続的発展から欠かせないと考えている。

地域経営計画の後期計画で、「活力ある農業を進行する」を掲げ、その実現施策として、地域ニーズにあった「スマート農業」の導入に取り組んでいく予定である。

時代に乗り遅れない町づくりを

Q 本町の未来構想で、どの様な町づくりが必要と考えるか？ また、企業と提携した最先端技術を用いた町づくりの考えは？

A 町長

現時点で、最先端技術を用いた特定の企業と連携は結んでないが、自動車関係・コンピューター・情報サービス等の最先端技術を有する町内企業と連携することで、新たな町づくりの取り組みが生まれる可能性は大いにありと考えている。

「Honda」の自動運転技術の公共交通での活用や、自社製品だけではなく、町の風土や文化を含め「高根沢から世界へ」をキーワードとして「マニ」などと、相互の信頼関係・連携体制を深めていく事で、町づくりへと繋ぎ、それが「町の未来構想」の一端になると考える。

問 安全・安心の高まる町に向けて

防犯・交通安全を



答【町長】新たに交番を増やすことはできない

日々の意識の中に防犯・交通安全を

ハードルが高い交番の設置

Q 本町での犯罪・交通事故の現状分析と、課題はどう捉えているのか？

A 町長

分析は、さくら警察署の所管であり、警察の広報紙等で周知されている犯罪・事故を減少するには、町民一人一人が防犯や交通安全に対し、意識を持って行動することが重要であり、町広報紙等で周知しているが、日常生活での定着に至っておらず、その意識醸成が課題である。



ルリちゃんパトロールマップ

Q 宝石台・光陽台地域の交通安全対策強化として、新たな交番等の設置を警察に要望すべきと考えるか？

A 町長



さくら署管内でも事故が多い県道10号線

さくら署に問い合わせをし、新規に大規模な住宅地となった地域への交番設置は必要があるものの、既存の住宅地では、既存交番等の移転や統廃合による対応となることである。

したがって、本町に新たな交番を増やすことはできない。

圃場整備事業を行うべき

答【町長】全町的に必ず実施する必要があると認識



加藤 章 議員



圃場整備事業の要件

Q 町の基幹産業である農業を持続・発展させるには、生産性の向上を図り、農業者の所得向上を実現することが必要です。種類、要件、負担割合はどうなのか？

A 町長 県営事業では「経営体育成型」「農地中間管理機構関連型」と主に2種類ある。「経営体育成型」の主な要件は、受益面積が20ha以上で農地利用集積率を上げるなどであり、



圃場整備事業施行風景

負担割合は、国が50%、県が30%、残りを町と農業者で負担する。「農地中間管理機構関連型」は、10ha以上、対象農地に全て農地中間管理権を15年以上設定することなどで、農業者の負担はない。

圃場整備すべし

Q 農業生産性の向上には、農地の大区画化を図ることが必要と考えるが、圃場整備事業に対する町の考え方は？

A 町長 「スマート農業」の導入など、コスト削減・省力化の効果を鑑みると、大区画化に向けた土地改良事業は、全町的に必ず実施しなければならぬものと認識している。しかし、事業規模が大きく町財政負担が大きくなり、また関係農業者の農地の減歩や負担金など経済負担をかける可能性もあることから、慎重に制度設計を行い、関係者の理解を得ながら慎重に進めたい。

問「元気あつぷむらの現状は」 答【町長】「コロナ禍のなか回復基調にある」



元気あつぷむら大丈夫？

Q 4月にリニューアルオープンし6ヶ月が経過した。元気あつぷむらの現状は？

A 町長 農産物直売所や高根沢ジェラートの月間売上は、6月以降、公社実績を超えており、グランピング

施設は現在、週末は年明けまで予約が埋まり、予約が取れない状況となり「徐々に回復基調に乗せつつある」と、報告を受けている。

また、毎週末、子ども向けのワークショップを開催し、様々な賑わい創出が行われており、グランピング施設利用者の声で、98%の方から「大変良かった・良かった」との回答がある。



元気あつぷむら敷地内に設置された記念碑

2月よりCM展開

Q 大嘗祭に供納され、町の知名度を押し上げた「とちぎの星」を活用し、プロモーション事業を予算化したのが、この町の資産である元気あつぷむらを核として展開すべきではないかと考えるが？

A 町長 「栃木県高根沢町」「高根沢産とちぎの星」「道の駅たかねざわ元気あつぷむら」の3つの、ワードを印象付けるメディアプロモーションを実施して行く。元気あつぷむらの「温泉」「グランピング」「食」を印象付けるため、有名人を活用してコミカルでお洒落な動画を制作し、令和3年2月の1ヶ月間、テレビや、動画配信サービス「TVer」でCMを放送することで、この町の魅力度、認知度を高めるとともに、ブランドイメージを確立していく。

介護予防・日常生活支援総合事業の実情は

答【町長】サービスAの報酬単価は国基準の90%



森 弘子 議員

介護

介護報酬単価は妥当？

Q

「総合事業」の導入で、介護事業所への報酬単価は、保険給付の現行水準の報酬額になっているか？

A

町長

平成28年4月の「総合事業」導入により開始された、「訪問型サービスA」と通所型サービスA」の報酬単価は、生活援助が中心であり、生活支援サポーター等のボランティアによるサービス提供をする設定であったため、国の基準単価の90%になっている。

Q

「総合事業」の導入で、介護事業所への報酬単価は、保険給付の現行水準の報酬額になっているか？

A

町長

通所型サービスAは、通所介護を行う9事業所の内6事業所が提供している。

訪問型サービスAは、訪問介護を行う3事業所全てでサービスを提供している。

サービスAは、ボランティア等の介護人材不足で、介護福祉士等の専門職による提供が多く、報酬単価を国の基準として欲しいとの要望を受けている。

第8期介護保険事業計画から、国の基準額とするよう見直しを進める。

Q

サービスB・Cの完全実施が待たれるサービスB・Cの現状と課題は？

A

町長

本町では、通所型サービスCのみの実施である。サービスCの内容は、パワーアップ教室を実施しており、今年度は3ヶ月プログラムを2回行い、1回目は12人、2回目は14人の参加があった。

現在、他のサービスの創出について、生活支援コーディネーター・第一層・第二層協議体と共に、検討を重ねている。



総合事業の利用ガイド

問 通学路の整備を！

安全 安心

答【町長】道路評価システムを見直す

システムを見直す

通学路の町道整備を！

Q

路面状態が悪く、自転車等での転倒もあり、危険な道路となっている箇所がある。通学路を考慮し、優先的に整備しては？

Q

東北原踏切の閉鎖で、中学生は町道310号線を利用しているが、通路が狭く、自転車・車・歩行者の往来で危険が増している。中学生が利用する道路等の調査および、安全指導の実施は？

A

町長

道路評価システムの評価項目は、平成22年度に見直したもので、道路利用状況の変化に対応してなく、一部で現状に則した重要性や必要性に反映できていない。令和3年度にシステムの見直しを実施し、通学路のあり方を整理する。

A

町長

調査により、「大谷バス通り踏切」や「烏山街道踏切」の利用増加や、交通量も多く危険性があるなどを把握し、週に1回、教員による立哨指導を実施している。生徒自身は、生徒会で作成した安全マップを活用し、交通安全に取り組んでいる。

施設利用の風景



今年度からスタートした新たな議会機能「会派活動」 「政策・施策・令和3年度予算提言」 を行う

12月定例会

採決結果

委員会報告

全員協議会

OH豆知識

一般質問

会派要望

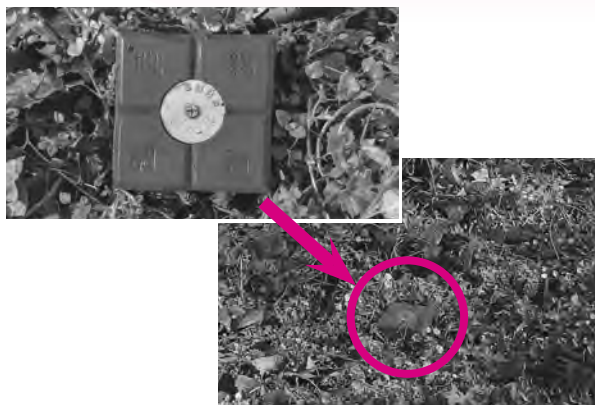
常任委員会

特別企画

令和3年度

町政運営・地域経営計画後期計画
策定に向けた「政策・予算提言」

清流会・絆の会（合同）



②地籍調査

令和元年度までの地籍調査着手率は74%。
令和17年度を目途に、事業完了に向け実施しているが、調査が完了した所と、未完の所では事実上の格差が生じている。

一例に、調査完了した土地の測量代金は5万円程度で、調査未完の測量には40万円程度かかる。

事業の早期完了を目指すため、単年度の地籍調査実施面積を最大限まで引き上げること。



①雨水排水対策

大雨が降る度に、町内各地で道路の冠水等が発生し、この要因に道路の形状が悪い事や、排水機能が果たされていない排水網などが考えられる。

雨水排水に関し、抜本的解決に向け、調査を行い雨水排水処理計画の策定に取り掛かること。



④庁舎整備

老朽化が進む現庁舎は、いつ起こるか分からない自然災害に対して持ち堪えられる状況とは言い難い。

災害時の対策本部として、十分な機能を果たせる環境ではない。

平常時は、障がいを持つ方に必要なエレベーターがないことや、Wi-Fiが整備されていないなど、時代に遅れた庁舎環境であり、誰もが来やすく、利用しやすい庁舎整備が望まれる。

庁舎整備について、遅くとも令和3年度当初には検討再開し、計画策定をスムーズに進めること。



③農業振興地域からの除外

令和5年には、国道408号が国道4号に接続開通し、また宝積寺駅西第一土地区画整理事業地内北側道路（御幸坂部分）の整備も完了し、国道4号とのアクセスが飛躍的に良くなる。

また、国道408号は県道10号線（烏山街道）とも交差し、交流人口の増加や物流の足として、生活に欠かせない重要な路線となる。

本町にとって大きな転換期となるチャンスが訪れ、経済発展や、地域振興なども見込めると考える。

そこで、国道4号と県道10号線の沿線で、農業振興地域の農振除外を県に申請すること。

『東町北区の抜本的雨水排水対策』

主旨

町内各地で大雨やゲリラ豪雨によって道路が雨水で浸かり、生活に支障をきたしている事態は起きており、特に東町北区は早急に現状を改善し、抜本的な整備を施す必要があり、施策実施の要望をする。

要望事項

① 雨水排水網の整備

東町北区地内の現況調査をし、野元川を流末に、調整池等の整備と共に雨水排水計画を見直すこと。

② 道路網の整備

都市計画道路整備計画と、見直し後の雨水排水計画が一体となった道路網整備計画の策定と、早期事業完了を目指すこと。

③ 流末河川の整備

関係機関との流末確保に向けた協議・申請や、用地整備費用の洗い出しを進めること。

④ 地域経営計画への反映

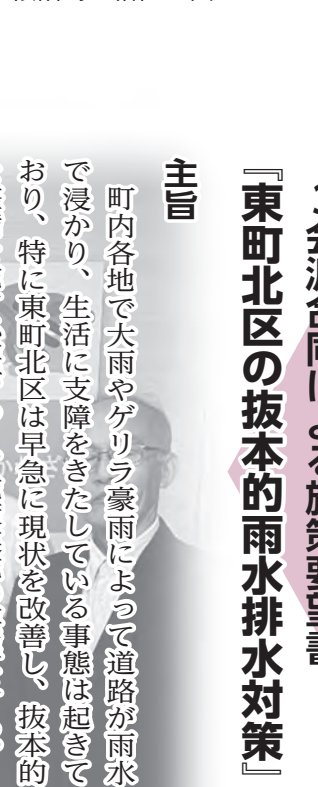
次期地域経営計画後期計画へ、東町北区の雨水排水を焦点にした方針を明確に記載すること。

⑤ 現状改善措置

宅地内への浸透槽設置に助成制度を設け、官民協働で地域課題の解決に向けた意識の醸成を図るとともに、現状課題を少しでも緩和できる措置を取ること。



雨水排水網を整備し、調整池の設置を進め、流末河川の整備を進めること。
雨水排水網を整備し、調整池の設置を進め、流末河川の整備を進めること。
雨水排水網を整備し、調整池の設置を進め、流末河川の整備を進めること。



根沢町



④ 農業の基盤対策

農業者の高齢化が進み、今後の労働力の確保が課題であり、課題解決には農業経営の法人化を図り、農地面積の拡大化が必要と考え、国庫財源による「土地改良事業」に向けた検討を早期に始めること。



③ 地方創生・活力あるまちづくり対策

「ちよっ蔵広場」は芸術性の高い広場であり、芸術的な催しを図ることで、定住・移住を促進できると考え、積極的な検討を図ることや返礼品に元気あっぶむらの宿泊券等を導入すること。



⑦ 道徳教育の充実・強化

デジタル化が進むと、人と人との関わりが少なくなり、本来の人間の姿が失われるのではと、不安を感じる。

小中学生の豊かな心の育成を図るためにも、道徳教育の改善・充実に取り組むこと。



⑥ 部活動の外部指導員採用

教員の負担軽減や担当教員の異動による指導力低下の軽減のためにも部活動における外部指導者の導入について検討すること。

② 安全・安心なまちづくり対策

新型コロナウイルスの感染対策に留意し、昨今の豪雨、地震等の災害に対応するため、地域の共助意識を高めるため地域防災組織への様々な支援や、防災拠点整備等の施策展開をすること。

① 高齢福祉対策

地域ケアシステムの確立を踏まえ、医療機関、介護施設、地域社会連携に係る推進組織の設立や、地域支え合い活動実施に伴う支援等の施策展開を図ること。

⑤ 土地利用計画

農地が市街化調整区域に指定されており、住宅などの開発が出来ず、その解除を求める声が多い。幹線道路沿線や学校の周辺などの解除に向け、段階的な措置を図ること。



詳細は町議会ホームページを

総務常任委員会 日常調査報告

1 新庁舎建設に向けての現状

調査内容

町庁舎は、建築から57年が経ち、新庁舎の建て替えは、現在、無期限延期となっております。

いつ起こるか分からない災害に対し、老朽化した庁舎では不安があり、新庁舎建設が、喫緊の課題であります。

そこで、県内で比較的新しい庁舎の大田原市、那珂川町で新庁舎建設に至った経緯と取り組み方、そして庁舎の規模や機能などを調査してきました。



大田原市庁舎（平成31年1月業務開始）

委員会の所感

視察した内容を踏まえ、新庁舎には、

- ・新庁舎を建設する場所
- ・財源
- ・町民にとって利便性の良い庁舎に必要な附帯施設
- ・新庁舎建設検討委員会の設置の必要性
- ・防災機能を備えた庁舎
- ・バリアフリーやユニバーサルデザインなどの専門的意見の聴取

などが必要と感じました。

今後、様々な意見を検討し、災害に強く末永く町民に愛される庁舎を目指し、町長に対して「早期に新庁舎建設に向けた提言」を提出できるように調査・研究を進めてまいります。



那珂川町庁舎（平成29年10月業務開始）

教育福祉常任委員会 日常調査報告

1 コロナ禍での福祉事業所の現状

調査内容

本町の在宅福祉ネットから、コロナ禍での福祉事業所の現状を伺い、意見交換をしました。

各事業所では、訪問・通所介護で、3密回避などの新しい生活様式とケアとのギャップや、感染リスク等に不安ある利用者や、リスク解消に向けた対応を図る事業所とのギャップがあること、施設内感染や職員の離職、事業所運営、差別的な行為を受ける可能性など、多くの課題がある現状を知りました。

委員会の所感

コロナ禍での、福祉サービスは、事業所の方々の覚悟と、利用者への思いで何とか維持できていると感じました。行政として、どのようなサポートができ、地域での支え合いを今後どのようにするのかなど、答えを導き出せるようにしていきたいと思えます。



在宅福祉ネットの詳細はこちら

2 学校でのコロナ・熱中症対策

調査内容

学校教育課より小・中学校でのコロナ・熱中症対策を伺いました。

本町では、町教育委員会で作成したマニュアルや、県教育委員会で作成した「新型コロナウイルス感染症に対応した教育活動の実施」を踏まえた学校運営をしており、健康観察の徹底をはじめ、換気・消毒の徹底などを行っていました。

教育課程の再編成では、子どもたちの負担が少なくなる努力をし、バランスがとれたスケジュールになるよう、学校行事等の中止が余儀なくされました。

また中学校では、制服での授業を体育着でも認める緩和措置を行っていました。

委員会の所感

当委員会として、コロナ対策で設置したサーマルカメラを熱中症対策にも並行して利用することや、家庭内での感染対策・熱中症予防などを行ってもらう事などの意見を提案しました。

今後も、学校でのコロナ対策に対し、対応の変化が求められる可能性もあることから、日常や社会変化に注視するとともに、適宜対策の提案を訴えていきます。

建設産業常任委員会

日常調査報告

1 日常生活に快適な道路整備を調査内容

町民にとって利便性を高めるため、また生活環境改善に向けた市街地道路整備の調査のため、道路の現状について現地調査してきました。

現況を確認したところ、市街地の道路の中で、災害発生時や、農道と町道を接続することで利便性が高まるならば、状況に応じた対策を含めた道路整備が必要であるとの意見が出ました。

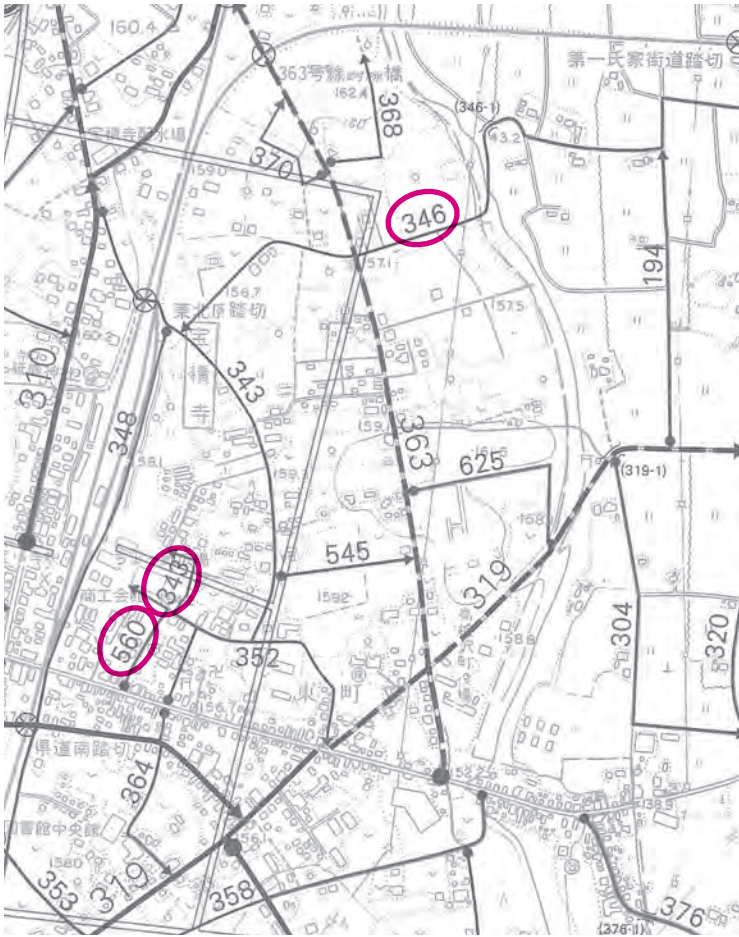
委員会の所感

町は道路網整備計画の中で整備順位を決めて事業を進めていますが、当委員会として、

①町道343号線と町道560号線との早期接続を実現すること。

②町道346号線の雨水浸透槽などの適切な維持管理を実施すること。

この2点の整備を進めることで、利便性が高まると捉えていることから、早期の道路整備について町に要望していくとともに、今後も道路整備について調査・研究を進めてまいります。



宝積寺北区付近の町道

災害発生—そのとき、議会は

議会活性化特別委員会は、地震、風水害、感染症拡大等の大規模災害が発生した際に、町議会及び町議会議員が迅速かつ適切な対応方針を定めました。



東日本大震災時の本町（阿中北側）

議会の役割

議会は、大規模災害が発生した際には、町対策本部と連携し、町民の安全の確保と早期の復旧、復興に資するため、全議員で構成する高根沢町議会災害対策会議を設置する。

議員の役割

議員は、災害発生直後においては、被災した住民の救護や復旧のために地域の一員としての活動を果たす。

地域活動などをおして地域の災害情報などを収集し、議会事務局に報告する。

議会事務局や町対策本部から提供された情報を、必要に応じて町民に伝達する。

町村議会議員研修会

令和2年11月10日に町村議会議員研修会が栃木県総合文化センターサブホールで開催され11名の議員が参加してきました。まず三田妃路佳氏（宇都宮大学地域デザイン科学部准教授）の講演で「若者の政治参加の意味と現実」という演題で若者の政治離れや選挙に行かない理由などの話を聞きました。

次に奥村康氏（順天堂大学医学部免疫学特任教授）が「不良長寿のすすめ」という演題で血圧やコレステロールなどの基準値と実態など医療の裏側の話を聞くことができました。

学んだ知識を今後の議会議員活動に活かしていければと思います。



ソーシャルディスタンスをとった研修会

コロナ禍を乗り越える！ 子どもたちは何を思う

コロナに負けない

高根沢の子どもたち

新型コロナウイルス感染症の出現により、私たちの生活は一変しました。

「感染症対策」、「経済の悪化」、「失業」、「会食禁止」など、ニュースを見ればネガティブなワードが並んでいます。

これからの将来を支える子どもたちは、コロナ禍の中でも必死に耐え、勉強やスポーツに励んでいます。

本町の子どもたちが、今、どんな思いで日々の生活を送り、どんな思いで過ごしているのか、本町の小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に率直な思いを聞いてきました。

中央小学校

上高根沢小学校

北小学校

西小学校



家族でお出かけが出来なくて残念ですが、学校での外遊びや、バレーボールの練習は楽しいです。

みんなで感染症対策をして、自粛のない生活になって欲しいです。

かとう まな 加藤 真那さん (6年生)

コロナで授業が無くなったことや、おじいちゃん、おばあちゃんに会えないのは寂しいけど、学校で友達と遊べることや修学旅行に行けたことは良かったと思います。

たかの りゅうと 高野 立翔さん (6年生)



コロナの影響で、ソフトボールの全国大会が中止になり悔しかったです。

学校行事で修学旅行と運動会は出来たのでうれしかったです。コロナ禍でも、毎日楽しく過ごしていきたいと思います。

こぼり あみ 小堀 愛実さん (6年生)

学校が休みになって友達に会えない寂しさはあったけど、コロナ禍だから出来ることもありました。

中学校に進学しても勉強や部活を頑張りたいです。

かわべち らもん 川口 楽門さん (6年生)



友だちとのおしゃべりが少なくなり、ストレスが溜まります。なるべく、人の集まる所には出かけません。教室では、机と机の間をパーティションで区切って欲しいです。

いほ ほんか 磯 春香さん (6年生)

音楽に乗って、ダンスを踊ることが好きです。コロナで遠足の行き先が東京から福島になり、残念でした。あまりおしゃべりをしないようにしています。

たしろ なつか 田代 捺樺さん (6年生)

コロナによって看護師をしているお母さんが疲れていたため、家族旅行に行けなくなってつらく感じます。お母さんの帰りが遅くなり、お父さんが家事をしたりして大変なので、早くコロナが終息することを願っています。

あんどう あかり 安藤 朱里さん (6年生)



おばあちゃんがいるので、感染対策には特に注意しています。大人の方が大勢で会食や集会を開いているのはおかしいです。コロナの終息が早く来ることを願い、このまま学校に通え、6年間の思いを込めて、卒業までしっかり掃除をして学び舎に感謝していきたいです。

たかた ともき 高田 倫生さん (6年生)



東小学校



学校が休校になり、家で勉強しているが、難しい問題が解けた時の達成感がうれしいです。
毎日、死者も出て悲しいですが、感染予防での手洗い、消毒をしっかり意識して、自分が感染しないようにしたいです。

グエン マリナさん(6年生)



給食の時間は、班で話をしながら食べていたけれど、今は、前を向き話ができないのでつまらないです。
睡眠時間を多くすると免疫力が上がると聞いたので実践しています。
ワクチンが早くできて終息に向かってほしいです。

やなおか たかひさ 柳岡 崇寿さん(6年生)



コロナは怖く、感染したらどうなるか心配です。でも、学校で友達と話したり、遊んだり、自転車で家の周りを走る事が楽しいです。
またコロナによって学校が休校せず、卒業まで楽しい学校生活を送りたいです。

よこすか はると 横須賀 晴登さん(6年生)



コロナによって、色々心配するようになり、手洗い・うがい・消毒・換気には注意しています。
6年生だから色々やりたかったけど、みんな仲良しのクラスで、楽しい学校生活を送っていききたいと思います。

きむら まりん 木村 菜鈴さん(6年生)

阿久津中学校



友だちとのとふれあいが減って、情報交換が不足しています。
生徒会では、委員会を設置し、密閉、密集、密接にならないよう呼びかけ、机や入り口を消毒しました。

たしろ りお 田代 理央さん(3年生)



JRCのボランティア活動ができません。
終息後、また以前のように交流したいです。
2か月間休校で学習が遅れが出ましたが、再開後は45分授業が50分になり遅れは取り戻されています。

ささきま ゆい 笹沼 由依さん(3年生)



コロナで感染して亡くなるより、自殺者の方が多いとの報道で、身近な友人に少しでも関わり、気持ちが楽になるように、いつもより多く話しかけています。
受験を控え、コロナを言い訳にはできないので、みんなで乗り越えていきたいです。

くろき あき 黒尾 明希さん(3年生)



マスクをしているため、会話しても表情が見えず感情を感じ取れません。
これまで当たり前になっていたことができなくなり、そのために「何かできることはないか? どうすればよいのか?」を深く考え行動したいです。

いしい はるき 石井 遙さん(3年生)

北高根沢中学校



学校行事が少なくなりましたが、先生方が代わりに企画してくださり、今年だけの行事が出来ました。
コロナで、前よりも出来る事は少なくなりましたが、みんなと楽しく学校に行けることがうれしいです。

こばやし あいり 小堀 愛莉さん(3年生)

子どもたちの未来を守る

今回の取材にに応じてくれた子どもたちは、しっかりと前を向き、コロナと向き合いながらどうすべきかを考えていました。

私たち大人は、これからの時代を創る子どもたちに、何を残し、何を与える事ができるのか、より真剣に考えていかなければならないと感じました。

どのような緊急・危機的な状況が起きても、高根沢の子どもたちの生命と暮らしをしっかりと守らなければなりません。

全町民で良識ある行動をし、新型コロナウイルス感染症に立ち向かい、打ち勝ち、子どもたちの笑顔と笑い声が木霊する、明るい日々を取り戻していきましょう。

このインタビューの最後に、高根沢の好きな所を聞きました。

自然が豊かで、空気がおいしく、学校も沢山あって他の学校の友達と交流できるなど、「郷土愛」を育んでくれます。

本町で育つ子どもたちは、高根沢町にとって「宝」であると確信しました。

この度、御協力いただいた児童・生徒の皆様、校長先生をはじめ教員の皆様に、深く感謝いたします。ありがとうございました。

広報委員の突撃
インタビュー
あなたの声を町政に

スポーツっていいね♪
「老若男女」だれでも
出来るスポーツがあります!

∞プロフィール∞

小林 榮二さん

お住まい：宝積寺
趣味：バドミントン
山登り
目標：百名山の全登頂
(現在50名山)

体育教師を経て、現在も
スポーツに対する思いを馳
せながら、日々の人生を歩
む小林さんに、お話を伺い
ました。

梅村 来年開催の「とちぎ国体」で、本町で行うデモンストラーション競技「カローリング」のお話をお聞きし、小林さんのスポーツに思いの根幹を聞きたく伺いましたので、よろしくお願い致します。

小林 よろしくお願致します。

スポーツとの関わり

梅村 小林さんが「スポーツ」と共に人生を歩むきっかけは？

小林 高校時代は、バドミントンをしていましたが、体育教師を目指し大学に進学した時に、先生から「体育教師をするなら、陸上」と言われ、陸上競技を始めたのがきっかけです。
教員になっても続け、退職した現在もスポーツを楽しみながら続けています。

大学の先生に感謝
陸上競技で優勝

梅村 陸上競技で、日本代表として大会に出場した経験があたりだと聞いていますか？

小林 私が、校長時代に、マスターズの陸上大会で、1000m・2000m走で栃木県一位になりました。
その後、日本代表として韓国で開催の世界大会に出場しました。



平成13年全国スポレク祭で走る小林さん(右)

『カローリング』との出会い

梅村 カローリングは、いつ始めたのですか？

小林 県のカローリング協会が設立されてから2年後、テニス・野球・バドミントン(現在15種目)など町内でスポーツの普及活動をしている「元気UPスポーツクラブ」にカローリング部ができ、その時から参加しています。
今では、県大会で高根沢チームが、上位を独占する状況です。

国体開催までに
認知度UP

梅村 素晴らしい結果を残しているんですね。では、高根沢での競技人口は？

小林 現在12名ほどで、4チームあります。(1チーム3人)

競技人口は少ないのですが、県大会優勝などの実績から、国体のデモンストラーション競技会場に、高根沢町が抜粋されたことは名誉であり、国体開催までに『カローリング』の普及・啓発を行い、多くの方に知ってもらえると同時に競技人口が増えるよう、活動しています。

このスポーツは、老若男女問わず、誰でもできます。



キリン体育館での練習風景

楽しく暮らせるまちへ

梅村 最後に、町に対して一言お願いします。

小林 教員・スクールサポーター・社会教育主事・スポーツなどを経験し、誰もがスポーツ・文化活動など、やりたいことができ、楽しく健康的に日々を送れる社会の実現が出来たらと思っています。
ぜひ、私が愛する高根沢町が、そんな社会になることを切に願っています。

取材を終えて

小林さんに取材し、「スポーツと共に人生を謳歌する」まさに生きることの素晴らしさを感じました。

いつでも、誰でも、どこでも、手軽にスポーツに参加できる町、生涯スポーツを目標に町に提言したいと思えます。

小林榮二さん、ありがとうございました。

会員募集
元気UPスポーツクラブ
カローリング部
練習会場

キリン体育館
午後6時から
月額会費 500円
※体験無料

問い合わせ
元気UPスポーツ
クラブ事務局
TEL 675・3361

